

情熱 責任
真摯 覚悟

埼玉県議会議員

宇田川 ゆきお

県政報告

令和7年
8月20日発行

特別号 Vol.25

発行:埼玉県議会自由民主党議員団 宇田川ゆきお県政事務所 〒340-0801 埼玉県八潮市八條393 TEL.048-932-4055 FAX.048-934-7099

八潮市の県道陥没事故

道路陥没問題の委員長に就任!
(八潮市道路陥没事故調査等特別委員会)
大山しのぶ・八潮市長としっかり連携!
埼玉県に説明と着実な対応を求める。



八潮市が被害を受けた道路陥没事故について埼玉県は責任をもって説明すべき

行政(国、県、市)は災害から市民の安全・安心を確保するために救急・防災体制、インフラ整備などの様々な施策を講じています。さらに自然災害だけでなく、都市生活における人為的な災害に対応することも求められます。都市機能を維持するための電気、ガス、上下水道などの建造物から発生する災害から市民を守ることも含まれます。

今年1月28日に八潮市の県道松戸草加線中央一丁目交差点付近の道路が陥没しました。道路下に埋設されている県

内12市町をカバーする下水道本管の老朽化に起因するもので、これは埼玉県が維持管理するものでした。それを考えると、「不可抗力による事故」にはなりません。

ところで、読売新聞オンラインには「2015年から2024年の10年間で国道の陥没、空洞事故が約1,100件、そのうち埋設管破損が40%強」との記事があります。さらに2022年から2024年にかけての越谷市の国道4号線大間野交差点で同じ排水管の腐食、破損による道路陥没が3件発生しています。このように維持管理強化の必要性が問われていた中での事故ですから、埼玉県の責任は重大だと言わざるを得ません。

今回の事故を重く見た埼玉県議会では6月12日に八潮市の県道陥没事故に関する特別委員会を設置することを決め、私が委員長に選任されました。

県に着実な対応を求める、市の独自の対応と合わせ、きめ細やかに、強力に!

道路陥没事故による現場周辺の臭気等の環境対策や補償問題など課題は山積しています。特に補償の問題については早期から知事に要望を行っています。市においては独自に利子補給を行うことがいち早く、決定されましたが、県においても補償について早急な対応を目指してまいります。地域の住民の皆さんに寄り添った対応をきめこまやかに着実に進めていくためにも、地元選出の県議会議員として県と市をつなぐ重責をこれまで以上に痛切に感じる日々です。

私は、これからも八潮のために大山しのぶ市長と手を携えて、住みやすさナンバー1のまちの実現へ向けて全力を尽くしてまいります。

裏面に道路陥没事故の経緯と対応を特集しました。
ご覧下さい。

道路陥没事故にも力を合わせ取り組む!

宇田川ゆきお県議

大山しのぶ市長



「県道松戸草加線」中央一丁目交差点道路陥没事故 経緯と今後の対応について解説します。

初動から大山市長とともに、迅速に動く!
発生翌日には、大山しのぶ市長と、緊急要望を提出。

1月28日、県道松戸草加線中央一丁目交差点内において、埼玉県が管理する中川流域下水道の下水道管の破損に起因する道路陥没が発生しました。翌29日には、状況、現状の課題・今後予想される課題、これらへの対応について、大山しのぶ八潮市長とともに私たち自民党埼玉県議団は知事に緊急要望を行いました。

この緊急要望では、主に、①人命救助を最優先で対応を進めること ②事故現場周辺の速やかな安全確保、復旧作業及び二次被害の発生防止に努めるこ

と ③今回の事故により生活、事業活動に支障を生じている周辺の住民、医療福祉施設、学校、各種団体、飲食店や事業所等への経済的支援についても、迅速かつきめ細かい対応を図ること ④下水道等、公共施設・インフラの老朽化は命に係わる課題であり、予算配分の強化など、国の予算を活用し施策を推進することを要望しました。

管理者である県も災害対策本部の設置、八潮市に災害救助法を適用するなどの対応がなされました。

また、2月、6月の県議会において本件



道路陥没に関連し、陥没した道路や下水道管の復旧工事の費用として約90億円を盛り込んだ補正予算案を可決しました。その後も自民党県議団として3月に被災者支援の要望書を知事に提出しましたが、前例にない事故であり補償の内容・対象に対しての判断が難しいことなどから県は慎重な姿勢を示していました。

特別委員長として、八潮市の迅速な行動に呼応・連携し、県からの責任説明、補償の早急な実施へ向け全力を尽くす!

6月27日の委員会では意見書・決議を提出し、国に対しては①下水道の強靭化予算の確保を求める意見書 ②社会資本施設に起因する事故等発生時における補償制度の構築を求める意見書、県に対しては、道路陥没事故に係る住民・事業者への速やかな補償を求める決議を全会一致で可決し、その後、意見書・決議は7月2日の本会議において、全会一致で可決しました。議会一致のこの意思に基づいて、今後は県で迅速な補償へ向けた説明会が行われる予定となっております。

大山市長の事故発生後の初動からこれまでの迅速な判断や意見を受けて、

私もそれに応えるべく力添えをしてまいりました。今回の事故は「社会資本事故」であり、今後も市と課題を共有し、これにより著しい被害を受けた皆様に対して、被害者支援の給付金・概算払い・補償を行うよう、強く求めてまいります。

この広報紙が皆様のもとに届くころ



には、補償がはじまり、県から責任説明もなされているように精力的に訴えてまいります。 (8月8日・記)

自民党県議団は7月16日に「八潮市の県道路陥没事故に関する緊急要望」を知事に提出

知事が6月議会定例会「道路陥没事故に係る住民・事業者への速やかな補償を求める決議」が可決された直後の記者会見にて「現時点では原因や責任が明確になっていない中でお預かりしている税金が元手。われわれの意図で簡単に拠出するわけにはいかない」(R7.7.3埼玉新聞)とのコメントを発出。

こうした消極的な姿勢に対して自民党県議団は、議会軽視とともに、県道で発生した社会資本である以上、知事の権限により税金で救済することが可能なことは明確であり、当該発言は誠に遺憾であり、決議に則り早急に被害者支援の給付金・概算払い・補償を行うよう求める旨の緊急要望を提出しました。

【経歴】●八潮市立八條中学校卒業●浦和実業学園高校卒業●東京コミュニケーションアート専門学校卒業●明治大学専門職大学院グローバルビジネス研究科修了MBA(経営学修士)●平成17年八潮市議会議員に初当選●平成

21年、八潮市議会議員に二期目当選●平成27年、埼玉県議会議員に初当選●平成31年埼玉県議会議員に二期目当選●現在:八潮市道路陥没事故調査等特別委員会委員長、危機管理・大規模災害対策特別委員会委員長●経済・雇用

対策特別委員会委員長、福祉保険医療委員長など歴任●所属団体:八潮市商工会青年部OB会、八潮市消防団、八條有志クラブ他
www.udagawayukio.com/



ご意見をお寄せ下さい

宇田川ゆきお県政事務所

〒340-0801 埼玉県八潮市八條393 TEL.048-932-4055
FAX.048-934-7099 E-mail.contact@udagawayukio.com